

共同獣医学部共同獣医学科 カリキュラムマップ

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

				単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

共同獣医学部共同獣医学学科 カリキュラムマップ										DP1		DP2				DP3
◎：DPの達成に大いに貢献する ○：DPの達成に貢献する										幅広い教養と汎用的技能		専門的な知識・技能				自律・共助する ちからと物 事を形にする 力
No	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	必 修	選 択	自 由	授業科目の到達目標	備考	DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP2-4	DP3	
43	齊一 教育 科目 （基礎 獣医学 系科目）	獣医学解剖学A	1	1			動物の体、部位の名称を理解する。 骨の構造、部位名、動物種差を理解する。 関節の構造、分類、運動軸性、関節、体幹・前肢・後肢の関節を理解する。 腔の基本構造、補助装置の構造と体内分布を理解する。 頭部、腹部、体幹部の分布を理解する。 獣医学分野の基本となる解剖学用語を学び、専門知識の基盤を作る。				○				○	
44		獣医学解剖学B	1	1			獣医学・畜産学で取り扱う哺乳類・鳥類を中心として、動物の生体の基本的構造、動物種差に関する基礎知識を習得することを目標とする。 獣医学解剖学Bでは、イヌ・ブタ・ウマ・ウシの解剖と内臓学に関して理解を深める。		◎						◎	
45		獣医学解剖学C	2	1			泌尿器系、生殖器官、リンパ系、内分泌系、感覚器系の担当臓器、及び外皮について、構造と機能を理解する。 各臓器の動物種差を理解し、泌尿器系・生殖器官・外皮では種差について理解を深める。				○				○	
46		獣医学解剖学D	2	1			獣医学・畜産学で取り扱う哺乳類・鳥類を中心として、動物の生体の基本的構造、動物種差に関する基礎知識を習得することを目標とする。 獣医学解剖学Dでは、脳科学、神経学、感覚器の解剖学について理解を深める。					○				◎
47		獣医学組織学A	1	1			細胞の構造について理解し、細胞の生命活動に関する基礎知識を身につける。 体を構成する四大組織について理解し、組織学を理解するための基礎知識を習得する。 上皮、結合組織、血液、軟骨、骨、筋における細胞、組織構造を理解する。 獣医学の専門知識を学ぶための、専門用語を習得する。				○					○
48		獣医学組織学B	2	1			各組織の二次元的構造から三次元的構造を構築できるようにすること。 細胞および組織の構造的特徴から組織および器官の果たす機能と動物種差を理解する。				◎					◎
49		獣医学組織学C	2	1			生殖器、消化器、内分泌器、感覚器、外皮の組織構造と機能について理解する。 ニワトリの組織学的な特徴について理解する。					○				○
50		獣医生理学A	2	2			・生理学における基本的な知識、考え方を説明することができる。 ・専門用語を理解し、説明することができる。 ・動物の生理機能を統合的に理解することができる。									◎
51		獣医生理学B	2	2			・生理学における基本的な知識、考え方を説明することができる。 ・専門用語を理解し、説明することができる。 ・動物の生理機能を統合的に理解することができる。				◎					◎
52		生化学Ⅰ	1	2			1 生体物質の構造と機能について学ぶ 2 生命の恒常性を支える生体物質の意義を学ぶ				○					○
53		生化学Ⅱ	2	2			1 核酸、糖質、脂質、アミノ酸および蛋白質の構造、代謝およびそれぞれの働きを理解する。 2 個体全体で恒常性がどのように維持されているかを理解する。 3 生化学の基礎知識を得るとともに、その応用法を学ぶ。				◎					◎
54		動物遺伝学	2	2			1) DNAや遺伝子の構造を理解する。 2) 染色体の構造ならびに染色体異常を理解する。 3) 変異の仕組みを理解する。 4) メンデル遺伝法を理解する。 5) より高度な遺伝法を理解する。 6) 古典的な遺伝子解析法を理解する。 7) 遺伝子変異動物や疾患モデル動物について理解する。 8) 遺伝性疾患や遺伝子疾患について理解する。									◎
55		動物行動学	1	2			獣医学が対象とする様々な動物種について、それぞれの種に特有な、あるいは種を超えて共通する行動様式や行動の発現機構を学ぶ。こうした知識を基盤に、アニマルウェルフェアに配慮した飼育管理技術や臨床行動学のための基礎となる考え方を身につけるとともに、行動科学的な分析方法や行動形成法の原理について理解する。				◎					◎
56		獣医学発生学	2	2			動物の組織や器官の発生、構造、形態形成、さらには発生異常やそれを引き起こす遺伝子について理解する。				◎					○
57		獣医学薬理学A	2	1			獣医学が対象とする薬の作用の過程を理解するために、対象疾患の成り立ち、その代表的な治療薬の作用の現れ方、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識を、動物種差を含めて理解していただく。									○
58		獣医学薬理学B	2	1			獣医学が対象とする薬の作用の過程を理解するために、対象疾患の成り立ち、その代表的な治療薬の作用の現れ方、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識を、動物種差を含めて理解する。				◎					◎
59		獣医学薬理学C	3	1			獣医学が対象とする薬の作用の過程を理解するために、対象疾患の成り立ち、その代表的な治療薬の作用の現れ方、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識を、動物種差を含めて理解する。				○					○
60		獣医学薬理学D	3	1			獣医学が対象とする薬の作用の過程を理解するために、対象疾患の成り立ち、その代表的な治療薬の作用の現れ方、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識を、動物種差を含めて理解する。				◎					◎
61		免疫学Ⅰ	2	1			免疫系という高度に複雑な生命システムの全体像を理解する。 1. 自然免疫の原理と適応免疫との関わりをまず理解する。 2. 抗原呈呈機構の理解を通じて、獣医学でよく重要な感染免疫の基礎を学ぶ。 免疫学Ⅰで学習した免疫学の基礎知識をもとに、以下の項目を理解する。 -病原体侵入に対応して生体内で起こる免疫応答 -免疫応答を応用した診断法、治療法 -免疫系の破綻によってもたらされる病態 -移植拒絶反応の理解 -妊娠を維持する仕組み これらの項目について、自身が持つ知識を繋げて論理的な説明が出来るようになることを目標とする。					○				○
62		免疫学Ⅱ	2	1			まず総論として、適正な動物実験を実施するために、動物実験の意義や倫理的課題、それに際する法令等について理解する。次に動物実験に際する基本技術、遺伝、微生物コントロール、感染症などの基本事項を習得し、実験動物学へと進むようにする。 遺伝、育種、繁殖などの実験動物の品質に関する事項および飼育管理や動物実験などの動物実験に関する事項を比較生物学的視点から理解するとともに法や基準等の社会的動向に照らし、かつ動物の福祉に配慮した適正な動物実験を実施するための方法を理解する。				◎					◎
63		実験動物学A	3	1			遺伝、育種、繁殖などの実験動物の品質に関する事項および飼育管理や動物実験などの動物実験に関する事項を比較生物学的視点から理解するとともに法や基準等の社会的動向に照らし、かつ動物の福祉に配慮した適正な動物実験を実施するための方法を理解する。					◎				◎
64		実験動物学B	3	1			遺伝、育種、繁殖などの実験動物の品質に関する事項および飼育管理や動物実験などの動物実験に関する事項を比較生物学的視点から理解するとともに法や基準等の社会的動向に照らし、かつ動物の福祉に配慮した適正な動物実験を実施するための方法を理解する。					◎				○
65		獣医学解剖学実習A	2	1			骨の肉眼的構造について動物種差を理解する。 (犬の内臓および豚の内臓の構造を深く理解する。) 豚および牛の内臓の構造を理解するとともに比較解剖学的観点から動物種差を理解する。					○				
66		獣医学解剖学実習B	2	1			動物ごとの各器官の位置と構造の構造を理解する。 血管・神経の走行と分布を理解する。					○				
67		獣医学解剖学実習A	2	1			1. 細胞の構造を理解する。 2. 哺乳動物・鳥類の体の組織構造について理解する。					○				
68		獣医学組織学実習B	2	1			細胞の構造、組織の構造、器官形成の基礎知識を習得し、三次元構造を理解できるようにすること。 また、組織標本の作成方法および顕微鏡の使用法について習得すること。					◎				◎
69		獣医生理学実習	2	1			実験結果に基づいて動物の生理機能を説明できる。					○				
70		生化学実習	2	1			実験器具の取り扱い、緩衝液・タンパク質・核酸の性質を学び、タンパク質および核酸の基礎的な取り扱い方法や検出方法を習得する。さらに遺伝子転写などの分子生化学の基礎知識を習得する。					◎				
71	実験動物機能学実習	3	1			1. 実験動物の品質を保證するための遺伝的モニタリング、および発生工学などの基礎技術を体験し、動物実験を実施するための基礎的な事項を理解する。 11: 薬の作用の現れ方、作用機序、および体内運命に関する基礎知識を習得する。				◎					○	
72	獣医学微生物Ⅰ	2	2			1 獣医学で必要なウイルス、細菌、真菌等の一般分類および一般性状について、体系的に理解できる。 2 微生物の取り扱いに関する基本的事項を理解できる。 3 微生物と宿主と相互作用について理解できる。 4 消毒剤および抗菌薬等に関する基本的事項を理解できる。 5 微生物検査法と微生物感染予防の基礎を理解できる。						○	○	○	○	
73	獣医学微生物ⅡA	2	2			1 病々の鑑別について、細菌科細菌属名をきちんと系統立てて説明できる。 2 病々の鑑別について、特徴や診断方法、病原性・疾病名を関連付けて説明できる。						○	○	○	○	
74	獣医学微生物ⅡB	3	2			1 動物、ヒトの病原ウイルスについて分類基準を理解する。 2 産業動物、伴侶動物、ヒトの病原ウイルスの特徴を理解する。 3 それぞれのウイルス感染症の概要を理解する。						○	○	○	○	
75	獣医学病理学A	2	2			国家試験をクリア出来る知識を習得させる。						○	○	○	○	
76	獣医学病理学B	2	2			1. 動物の腫瘍、遺伝性疾患、環境性疾患について病理学的に説明できる。 2. 病理学的研究法を説明できる。 3. 動物の循環器系、血液・造血器系、呼吸器系の疾患を病理学的に説明できる。					◎			◎		
77	獣医学病理学C	3	2			1. 動物の消化器系と泌尿器系における疾病の原因、病態、病理形態学的特徴を理解して説明できる。 2. 動物の皮膚の病理学の有用性を理解して説明できる。					◎			◎		
78	獣医学病理学D	3	2			1) 運動器系、外皮、神経系、内分泌系における疾病の原因、病態、治療を理解する。 2) 運動器系、外皮、神経系、内分泌系における疾病の成り立ちを理解する。 3) 病理学の有用性を理解する。						○	○	○	○	

共同獣医学部共同獣医学科 カリキュラムマップ

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

共同獣医学部共同獣医学学科 カリキュラムマップ										DP1		DP2				DP3			
◎ : DPの達成に大いに貢献する ○ : DPの達成に貢献する										幅広い教養と汎用的技能		専門的な知識・技能						自律・貢献するからと物事を形にする力	
										DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP2-4	DP3			
No	科目区分	授業科目の名称	紀年 単位	必修	選択	自由	授業科目の到達目標	備考											
79	齊一 教育 科目 へ 応用 獣医 系 科目	家畜疾病学	4	2			1. 養殖産業および飼育衛生管理について概要を説明できる。 2. 家畜のウイルス感染症の病原体、症状、診断法、予防法について概要を説明できる。 3. 家畜の細菌感染症の病原体、症状、診断法、予防法について概要を説明できる。 4. 家畜の原虫・寄生虫感染症の病原体、症状、診断法、予防法について概要を説明できる。 5. 家畜の非感染性疾患の症状、診断法、予防法について概要を説明できる。												
80		魚病学	4	2			・わが国の代表的な養殖魚介類の養殖方法を理解できる ・養殖魚介類の疾病の要因や疫学を理解することで、診断・予防・治療の基礎知識が得られる ・養殖現場や水族館・小動物臨床において臨床に対応できる基礎知識を得られる												
81		毒性学A	3	1			化学物質が、人や動物そして環境に及ぼす有害作用を明らかにし、その防止における獣医師の役割を理解する。化学物質の有害作用と体内動態および毒性発現のメカニズム、地域・地球規模での化学物質の動態や環境への影響について学び、毒性学における網羅性の重要性を理解するとともに、リスク解析や規制方法を理解する。												
82		毒性学B	3	1			化学物質が、人や動物そして環境に及ぼす有害作用を明らかにし、その防止における獣医師の役割を理解する。化学物質の有害作用と体内動態および毒性発現のメカニズム、地域・地球規模での化学物質の動態や環境への影響について学び、毒性学における網羅性の重要性を理解するとともに、リスク解析や規制方法を理解する。												
83		動物衛生学	3	2			動物衛生学の基礎知識（疾病予防、管理衛生、飼養衛生、環境衛生）を身につける。 ・防疫のための様々な制度を理解し、適切に対応することができる。 ・課題を通して身に付けるべき学習目標を立て、自ら学習することができる。 ・家畜伝染病、HAACP、衛生管理等の意味を自分の言葉で説明することができる。												
84		動物感染症A	4	2			産業動物および伴侶動物の感染症を制御する考え方と主な細菌感染症の病因、伝染経路、発症、流行、病態生理、生体防御、診断、治療、予防および感染症を制御する基本的な方法と個々の感染症の制御法を関連法規、特に家畜伝染病予防法に基づき修得する。動物に対する人獣共通感染症についても理解する。												
85		動物感染症B	4	2			産業動物および伴侶動物のウイルス感染症を制御する考え方と主なウイルス感染症の病因、伝染経路、発症、流行、病態生理、生体防御、診断、治療、予防および感染症を制御する基本的な方法と個々の感染症の制御法を関連法規、特に家畜伝染病予防法に基づき修得する。個々のウイルス感染症について説明できるようにする。												
86		寄生生物学Ⅰ	2	2			獣医師臨床および公衆衛生上重要な寄生生物の分類、形態、生活史、病原性、流行の要因、感染、診断、治療、予防および宿主との関係について理解し、寄生生物による病害発生の機序やその対策についての考え方を身につける。												
87		寄生生物学Ⅱ	3	2			私たちの日常生活、社会環境や自然環境における生物間関係の一端を理解できる意義をもつ。												
88		獣医公衆衛生学	3	1			公衆衛生活動に関わる獣医師の役割を理解し科学的考え方の習得を目指す。												
89		食品衛生学	3	2			1、食品による健康危害要因の種類と健康障害の発現要因を理解する。 2、食品衛生行政、関係法規を理解する。 3、食品に起因する健康被害を未然に防ぐ方策について理解する。												
90		環境衛生学	3	1			・ヒトと動物の健康は環境との相互作用のなかで成り立っていることを認識する。 ・環境を総括し評価することが環境衛生の基本であることを理解する。 ・健康に関わる様々な環境要因とその衛生管理の方法（関係法規を含む）を理解する。 ・地球環境汚染の現状とその対策について理解する。 ・地域での環境汚染（公害）について過去と現状ならびにその対策について理解する。 ・有害な化学物質の管理について理解する。												
91		食品科学	2	1			1. 食品の機能、役割を理解する 2. 食品の製造過程について理解する 3. 食品の保存性について理解する 4. 食品表示について理解する												
92		人獣共通感染症Ⅰ	3	1			人獣共通感染症の伝播様式、病原体、法的基盤、現状を説明できる。各種ウイルス性人獣共通感染症を説明できる。												
93		人獣共通感染症Ⅱ	3	1			それぞれの人獣共通感染症の特徴を理解し、予防対策を実施できるようにする。												
94		獣医疫学	4	1			疫学の目的と意義を学び、その応用対象を理解する。 ・伝染病学の一般原則及びその疫学コントロールへの適用を理解し、適切な情報源にアクセスし、使用できる能力を身につける。 ・解析疫学の原則を理解し、適切な現場で、適切な手法を用いた疫学の検証を行える能力を身につける ・サーベイランスとスクリーニングの目的と原則を理解し、実際の事例を通じ、計画立案実行できる能力を身につける ・疫学リスクアセスメントの原則を理解し、実際の事例をもとに、リスクアセスメントを実施するに当たり、必要なデータを得的できる能力を身につける												
95		獣医微生物学実習A	2	1			1. 細菌検査を行うに当たり、その環境作りのための適切な消毒、滅菌方法を自分で選択できる。 2. 原因細菌が特定されたら、その細菌の培養や至適増殖地を選択できるようにする。 3. その細菌を同定するための一般的細菌技術を得得する。												
96		獣医微生物学実習B	3	1			1. ウイルス分離のための知識と手技を得得する。 2. 細菌培養法についての知識と手技を得得する。 3. ウイルスの分離法・増殖法・定量法についての知識と手技を得得する。 4. 抗原抗体反応および遺伝子検査によるウイルス診断法についての知識と手技を得得する。												
97		獣医病理学実習	3	2			1. 基本的な病理理解ができる。また、所見・記録を取ることができ、病理診断をつけることができる。 2. 病理組織学の見解をとることができ、組織学的診断をつけることができる。												
98		寄生生物学実習	3	1			寄生生物の感染様式や、発育にともなう寄生様式ならびに形態の変化の観察、および代表的な寄生生物の感染経路の解説に基づいて、寄生生物の発育・生活環と病害発生や診断法との関連性を説明でき、寄生生物の診断と対策に必要な知識、技術および考え方を身につける。												
99		獣医公衆衛生学実習Ⅰ	3	1			公衆衛生における食品衛生管理の意義を学ぶとともに、基本的な公衆衛生検査法に習熟する。												
100		獣医公衆衛生学実習Ⅱ	4	1			公衆衛生における食品衛生管理、環境衛生、並びに人獣共通感染症について学ぶとともに、これらに関連する基本的な検査法を得得する。												
101		食肉衛生検査学実習	5	1			1. 食肉検査の流れと関連法規を理解すること。 2. 食肉検査で遭遇する病変を自分の目で見て、手で触れて、数多くの疫学を経験すること。最終的には作業ラインが流れの中で検出されたためができるまでのレベルに到達することが望ましい。 3. 食品衛生法に関する仕事ができるようになるものであるかを身をもって学び、経験すること。												
102		薬理毒性学実習	3	1			授業で学習した薬の作用点を、組織および機体レベルで確認するとともに、薬理・毒性学実験に必要な基礎的手技を得得する。さらに、薬理学的思考方法を学習する。												
103		動物衛生学実習	3	1			・飼養衛生管理の意味と重要性を自分の言葉で説明することができる。 ・畜産関連施設が社会に果たす役割を理解することができる。 ・社会で働く獣医師として身に付けるべきモラルやマナーを身につける。												
104		動物感染症総合実習A	4	1			高病原性微生物の生態、病原機構、検出法および感染予防法に関する診断・調査を遂行するために必要な高度専門知識を得得する。												
105		動物感染症総合実習B	5	1			高病原性微生物の生態、病原機構、検出法および感染予防法に関する診断・調査を遂行するために必要な高度専門知識を得得する。												
106		食品加工学実習	2	1			食肉・生乳の加工に関連する知識を習得し、実際に実習を行うことによって理解を深める。 保存食として発達した加工肉の基本的な製造方法、殺菌工程を学び、食品衛生の概念の基礎を習得する。 また、生乳の取り扱い、殺菌、乳製品加工を通じて、生乳生産現場から食品加工に至る「食の安全性」確保の意義を考える。 関係師として必要な知識と現場での技術的応用と生乳生産、及び食品加工における管理衛生について学び、食の安全・安心へのチェックポイントを考究する。												
107	獣医臨床栄養学	2	1			動物に必要な栄養素、原料を消化し栄養素を吸収する原理、主要な動物の消化器官の機能、栄養素の利用・代謝、エネルギーを伴う生命活動のために利用する原理、動物のために与えるべき栄養量の算出方法、代謝プロファイルテストなどを習得する。													
108	臨床獣医学総論	3	1			・獣医師臨床に必要な基礎知識を習得する。 ・各種臨床症状の意味と、基本的な診断法および治療法を習得する。 ・診療に関わる説明責任や倫理に基づく獣医師の責務についても理解する。													

共同獣医学部共同獣医学科 カリキュラムマップ

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

No	科目 区分	授業科目の名称	紀 年 次	必 修	選 択	自 由	授業科目の到達目標	備考	DP1		DP2					DP3	
									幅広い教養と汎用的技能		専門的な知識・技能					自律・貢献するからと物事を形にする力	
									DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP2-4	DP3		
							獣医学領域において使用される放射線の一般的な作用、人体に対する有害な作用、その制御について理解する。 放射線および核医学を利用した検査法にの基本的な部分を理解する。 放射線使用における安全管理について、関連する法律、規則について理解する。		豊かな人間性と国際社会と地域社会に貢献できる。		動物生命科学に關する基礎知識を有し、その研究を遂行できる。	人や動物の感染症に関する基礎知識を有し、適切な実践に寄与できる。	動物医療に關する基礎知識を有し、適切な実践に寄与できる。	畜産資源に關する基礎知識を有し、その安定供給と安全性確保に資することができる。	獣医学を基礎とした動物生命科学研究の探究心を持ち、社会の中で協力し、問題解決を行うことができる。		
109		獣医放射線学	3	1									○	○			
110		獣医臨床病理学Ⅰ	4	1			1. 獣医臨床病理学における様々な検査の種類、方法および意義を理解・習得する。 2. 様々な疾患に対して、どのような検査が適用されるべきかを理解・習得する。 3. 検査結果を総合的に解釈し、診断・予後判定に結びつける方法を理解・習得する。						◎	◎			
111		獣医臨床病理学Ⅱ	4	1			この授業を通して、各授業における項目について理解し、自分で実際に臨床検査の結果を解釈できるようにする。						○	○			
112		獣医手術学	3	1			●手術治療の歴史的発展、手術という治療法の特徴について説明できる。 ●無菌手術に必要な器材の滅菌法、消毒法について説明できる。 ●手術前の患者とその家族への説明法について説明できる。 ●手術器具の名称と使用法に關する基礎知識および手術室における機器・設備について説明できる。 ●無菌操作に必要な術者及び術野の準備法について説明できる。 ●手術の基本手技について説明できる。 ●術後の手術創の管理法について説明できる。 ●動物の組織に与える侵襲を少なくする手術法について説明できる。						○	○			
113		獣医麻酔学	3	1			1. 動物の基礎生理学を習得する。 2. 鎮静や各種麻酔・手術操作・薬剤に対する生理的反応を制御し、動物の安全な治療を実施するための麻酔手法を理解する。 3. 疾患・集中治療、重症緩和ケアなどを理解する						○	○			
114		獣医画像診断学Ⅰ	3	1			X線撮影方法の基礎知識を習得する。 X線撮影技術（ポジショニング）の基本を習得できる。 各種疾患を鑑別するための読影技術を習得できる。						◎	◎			
115		獣医画像診断学Ⅱ	3	1			経腸造影検査、内視鏡検査、X線CTやMRIなどの断面画像検査、さらには核医学検査などの画像診断手技について、その基本原理、検査の適応疾患、代表的な疾患の特徴的所見、応用法を理解できる。また、これらの知識をもとに適応症例に対する画像診断アプローチを考えることができる。						◎				
116		獣医繁殖学	4	2			・各種動物の生殖系の構造、繁殖生理機能の違いを理解する ・生殖細胞、受精、妊娠、分娩に至る一連の過程を理解する ・発生工学、生殖工学について理解する						○	○			
117		獣医皮膚病学	4	1			この授業を通して、獣医臨床で遭遇する可能性のある皮膚疾患について一通り学び、症状から疾患を鑑別し、診断をすすめていけるようになることができる。						○	○			
118		獣医消化器病学A	4	1			伴侶動物の消化器疾患に関して以下のことを修得することを目標とする。 ・臨床徴候を説明できる ・病態を説明できる ・鑑別診断および診断的アプローチを説明できる ・治療法および予後を説明できる						◎				
119		獣医消化器病学B	4	1			歯牙疾患の概要と治療を理解できる。消化管全長と消化管に付随する臓器（肝臓、膵臓、胆嚢）における外科手術が適応となる疾患の概要、手術方法等理解できる。 消化器感染症の概要を理解できる。 臨床実習および実習管理について理解できる。						◎				
120		獣医腎臓泌尿器病学	4	1			・腎臓器疾患および泌尿器疾患の原因や病態を説明できる。 ・腎臓器疾患および泌尿器疾患に關する診断法を説明できる。 ・腎臓器疾患および泌尿器疾患について適切な治療法を選択できる。						◎	◎			
121		獣医内分泌・代謝病学	4	1			各種内分泌腺の構造と機能を知り、内分泌異常による病態の診断法と治療法を習得する。また、脂質代謝異常、有毒物質による中毒についても診断法と治療法を習得する。						○	○			
122		獣医呼吸器・循環器病学	3	2			伴侶動物の呼吸器・循環器病の病因、診断、治療法を理解し説明できる。臨床で実際に遭遇する疾患に関して、診断と治療法を思考できる。授業中によく質問し、疾患に關する学習効果を高め、理解する。						◎	◎			
123		獣医神経・感覚器病学	4	2			神経系の概要と神経学的検査の概要を理解する。代表的な脳疾患、脊髄疾患の概要を理解する。末梢神経、神経根接合部疾患について理解する。中脳、内耳、視神経などの感覚器の疾患の概要を理解する。						○	○			
124		臨床動物行動学	4	1			臨床行動学について、その基本的な概念、すなわち、問題行動の定義、種類、特徴、原因、病態生理、危険因子、症状、診断および治療法などを体系的に理解し、応用する能力を修得する。						◎	◎			
125		獣医血液病学	4	1			1. 各種病態における赤血球・白血球、血小板の増加と減少を解釈し、また各種血液疾患の病態、診断法、治療法を論理的に理解する。 2. 免疫介在性血液疾患の病態と病態を学び、その診断法、治療法、予後に関する基礎知識を修得する。 3. リンパ系腫瘍の病態、分類、診断法、治療法、予後に関する基礎知識を修得する。						◎	◎			
126	畜一教育科目へ臨床獣医系科目	獣医運動器病学	4	1			●骨の正常な構造と機能を理解する。 ●骨の疾患と診断・治療法について理解する。 ●関節の正常な構造と機能を理解する。 ●関節の疾患と診断・治療法について理解する。 ●腱、靭帯の疾患について理解する。 ●筋肉の疾患について理解する。						○	○			
127		獣医臨床腫瘍学	4	1			小動物臨床における腫瘍性疾患の病態、病期等を理解する。腫瘍性疾患の各種治療法の長所と短所、適応などの概要を理解する。小動物臨床における代表的な腫瘍性疾患の概要を理解する。						○	○			
128		野生動物学	4	1			1. 野生動物の生体機能を環境への適応との関連から理解する。 2. 生息地の成り立ちや生態系を理解する。 3. 野生動物の保護・管理および生態系保全の概念と方法を学ぶ。 4. 野生動物に關する国内外の法律および政策について学ぶ。						◎	◎			
129		牛診療学Ⅰ	4	1			・牛の診療を行う上で必要な基礎知識を習得する。 ・各種臨床症状の意味と、基本的な診断法および治療法を習得する。 ・診療に關する説明責任や規則に基づく獣医療の実践についても理解する。						◎	◎			
130		牛診療学Ⅱ	4	1			・牛の診療を行う上で必要な基礎知識を習得する。 ・各種臨床症状の意味と、基本的な診断法および治療法を習得する。 ・診療に關する説明責任や規則に基づく獣医療の実践についても理解する。						○	○			
131		馬診療学	4	1			●馬の動物としての特徴、人と馬の関わりについて理解する。 ●馬の飼養管理、診断法、及び治療法を理解する。 ●馬の循環器・呼吸器疾患の病態、原因、症状、診断法、治療法を理解する。 ●馬の消化器疾患の病態、原因、症状、診断法、治療法を理解する。 ●馬の運動器疾患の病態、原因、症状、診断法、治療法を理解する。 ●馬の眼科と繁殖について理解する。						○	○			
132		豚診療学	4	1			1. 豚の動物としての特徴、人と豚の関わりについて理解する。 2. 豚の飼養管理、繁殖の現状と問題点等について理解する。 3. 豚の呼吸器疾患の病態、原因、症状、診断法、治療法、予防法を理解する。 4. 豚の消化器疾患の病態、原因、症状、診断法、治療法、予防法を理解する。 5. 豚の代謝・栄養性疾患・皮膚疾患・中毒の病態、原因、症状、診断法、治療法を理解する。 6. 豚新生子の生理機能及び主要疾病について理解する						◎	◎			
133		獣医予防管理学	4	2			事故や疾病の予防の重要性、事故や疾病が発生する原理、畜産物生産とのバランス、発生形態、群れと個体の関係などを習得する。	○	◎	◎				◎	◎		
134		獣医臨床基礎実習	3	1			・牛を適切にハンドリングできる。 ・牛の基本的な生態および飼養管理を理解し、生産物の生産過程を説明できる。 ・牛を飼養する際に用いられる飼料を識別できる。 ・農業機械の基本的な役割および機能が説明できる。						○	○			
135		伴侶動物診断治療学実習A	4	1			伴侶動物の診療を行うにあたっての基本的な動物の扱い方、クワイアントとの接し方、身体検査法、各種診断法、治療法を修得するとともに、臨床検査法についても学習する。これらの項目の意義を理解するとともに、各種検査法については原理、判定方法と診断への結び付け方、さらには治療法について実践的に学習する。						◎				
136		伴侶動物診断治療学実習B	4	1			伴侶動物の診療を行うにあたっての基本的な動物の扱い方、クワイアントとの接し方、身体検査法について学習する。これらの項目の意義を理解するとともに、各種検査法については原理、判定方法と診断への結び付け方、さらには治療法について実践的に学習する。						◎				
137		伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ	4	1			外科手術に必要な基礎的知識および基本技術の修得を行う。またシミュレーションや実習モデルを用いて、縫合、糸結びのような基本的な手術操作、無菌的操作などの基礎技術をより実践的なものとして身につける。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎		
138		伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ	4	1			1. 動物の麻酔法について理解し、手術内容に応じた適切な麻酔管理法を選択できる。 2. 動物の外科手術に必要な基礎的知識および基本技術を修得する。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	

共同獣医学部共同獣医学科 カリキュラムマップ

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

No	科目 区分	授業科目の名称	紀 元 年 次	必 修	選 択	自 由	授業科目の到達目標	備考	DP1		DP2					DP3	
									幅広い教養と汎用的技能		専門的な知識・技能					自律・貢献するからと物事を形にする力	
									DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP2-4	DP2-5	DP3	DP3
							1 講義で習得した知識をもとに、実際に動物に触れながら実習を行うことで、知識の定着を図るとともに、基礎的な獣医学的技術を習得する。 2 牛、馬、豚の診断、診療を行う場合に必要となる基礎知識、保定法、診断法、検査法及び治療法についての実践的な技術を習得する。		豊かな人間性と国際社会と地域社会に貢献できる。	動物生命科学に関する基礎知識を持ち、その研究を遂行できる。	人や動物の感染病に関する基礎知識を持ち、適切に実践できる。	動物医療に関する基礎知識を持ち、適切な実践ができる。	畜産資源に関する基礎知識を持ち、その安定供給と安全性確保に資することができる。	獣医学を基礎とした動物生命科学研究を実施するための研究心を持ち、社会の中で協力し、問題解決を行うことができる。			
139		産業動物診断治療実習	4	1									○		○		
140		獣医繁殖学実習	4	1			・各種動物別の生殖系の構造、繁殖生理機能の違いを理解する ・生殖系検査、採精法、人工授精法などの臨床繁殖技術を習得する ・分娩の経過について理解し、助産方法について学習する ・発生工学に関する技術を理解し習得する						○		○		
141		伴侶動物総合臨床実習	5・6	11			小動物臨床獣医師として必要な知識及び技術を習得することとし、以下の点を目指す ・正確で効率良い獣医検査法（問診）を行い、全身状態の把握と目的に沿った正確な身体検査の実施と病歴の聴取を行うことができる。 ・必要な検査を選択・実施し、問診および身体検査の結果と統合して診断および治療法の選択を行う臨床推論能力を養う。 ・診断結果および適切な治療法の選択について適切な説明を行うことができる。 ・人間および両隣獣・術後の患者に対して適切な管理ができる。 ・適切な診療記録を作成することができる。 以上から伴侶動物や展示動物の臨床獣医師として必要な知識及び技術を習得する。						○		○		
142		産業動物総合臨床実習	5・6	6			国際的な獣医学教育認証機関（EAEV）が定める獣医師として必要な知識及び技術を習得する。産業動物の診療に関する基礎的な知識や技術についての理解を深める。また、実習を通して、畜主との接し方や臨床記録の記載方法を習得するとともに、診断手順、各種検査方法とその結果の解釈、検査と検査結果及び様々な治療法に関する理解を深め、個体治療における産業動物臨床に関する基礎的な臨床技術の習得を行う。さらに、生産獣医療に基づく、経営管理についての基本的な知識や技術を習得する。						○		○		
143		夜間・救急病院総合臨床実習	5・6	2			動物医療における夜間救急診療の現状および意義を理解する。 夜間救急診療においてよく来る疾患とその治療方法について理解する						○		○		
144		病理臨床解剖学実習	5・6	1			国際的な獣医学教育認証機関（EAEV）が定める獣医師として必要な知識及び技術を習得する。						○		○		
145	科教電 目 育 修	専攻演習	4	2			生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。			○							◎
146		卒業論文	5・6	4			生命科学における研究の方法論、実験技術、文献検索法、論文のまとめ方、発表方法などを習得する。			○							◎
147		獣医学特別研修	-----				1 学外実習等、学生が自主的に参加した研修によって、幅広い視野、理解力、洞察力を養う。			○							◎
148		国際獣医学特別研修 A	-----				1 学部が派遣する国際交流協定等に基づく留学又は学部が認めた研修に参加し、国際的な視野、理解力、洞察力を養う。			◎							◎
149		国際獣医学特別研修 B	-----				2 学部が派遣する国際交流協定等に基づく留学又は学部が認めた研修に参加し、国際的な視野、理解力、洞察力を養う。			◎							◎
150		国際獣医学特別研修 C	-----				4 学部が派遣する国際交流協定等に基づく留学又は学部が認めた研修に参加し、国際的な視野、理解力、洞察力を養う。			◎							◎
151		国際獣医学特別研修 D	-----				8 学部が派遣する国際交流協定等に基づく留学又は学部が認めた研修に参加し、国際的な視野、理解力、洞察力を養う。			◎							◎
152		先進基礎獣医学演習	5・6				4 各研究室での卒業論文研究以外の能動的な活動を評価し、様々な研究活動を通して、多角的な視野、理解力、洞察力を養う。			○							◎
153		先進応用獣医学演習	5・6				4 各研究室での卒業論文研究以外の能動的な活動を評価し、様々な研究活動を通して、多角的な視野、理解力、洞察力を養う。			○							◎
154		先進臨床獣医学演習	5・6				4 各研究室での卒業論文研究以外の能動的な活動を評価し、様々な研究活動を通して、多角的な視野、理解力、洞察力を養う。			○							◎
155		アドバンス実習 A	5				2 参加型臨床実習の他、研究室の分野を横断した実践的な実習への参加を通して、多角的な視野、理解力、技術を養う。			○							◎
156		アドバンス実習 B	5				2 参加型臨床実習の他、研究室の分野を横断した実践的な実習への参加を通して、多角的な視野、理解力、技術を養う。			○							◎
157		アドバンス実習 C	6				2 参加型臨床実習の他、研究室の分野を横断した実践的な実習への参加を通して、多角的な視野、理解力、技術を養う。			○							◎
158		バイオ情報処理技術	4				1 系統増成の原理とそのアルゴリズムを説明できる。 DNAの比較と検索についてその原理とアルゴリズムを説明できる。			○	○						○
159		バイオ情報処理技術演習	4				DNA情報を取得できる。 DNA情報をすべて比較できる。 DNA情報から系統樹を作成できる。 1 アミノ酸配列を適切に遺伝子操作を設計できる。 アミノ酸配列からタンパク質のドメインを検索できる。 アミノ酸配列からタンパク質の構造を予測できる。 日本・アジア及びアフリカ・ケニアにおける感染症に関する知識を習得し、国や地域の違いによる環境・対応を知ること、グローバルな視点でOne Healthを意識することができる。				○	○					○
160		獣医国際感染症学	-----				1 国や地域の違いによる環境・対応を知ること、グローバルな視点でOne Healthを意識することができる。			○							○
161		熱帯獣医学 I	-----				1 熱帯地域の獣医学について、他の地域との比較も含めて学ぶ。			○							○
162		熱帯獣医学 II	-----				1 熱帯地域の獣医学について、他の地域との比較も含めて学ぶ。			○							○
163		熱帯獣医学 III	-----				1 熱帯地域の獣医学について、他の地域との比較も含めて学ぶ。			○							○
164		熱帯獣医学 IV	-----				1 熱帯地域の獣医学について、他の地域との比較も含めて学ぶ。			○							○
165		法獣医学	4・5				1 日本と海外の法獣医学に関する知識を習得し、社会の健全性を目指す獣医師の役割について、One Healthの観点で考察することができる。		○	○	○						◎